



根津鋼材 全社でCSR活動徹底

社内システムなど変更

有力コイルセンタは、9月からスタートした新年度(第41期)で①コンプライアンス(法令遵守)②安全重視③地球環境配慮を徹底する。CSR(企業の社会的責任)を果たし、顧客および市場から持続的な信頼(企業価値と存在意義)を得るため、コンプライア

現場の安全確保は「最重要テーマ」と位置づけた。危険箇所を撲滅するため、加工設備には安全防護柵の設置を順次進めている。回転体に人体が触れない対策も講じていく。また、4力所ある工場では社内外の誰もが一目で分かるよう、全拠点共通カラー(赤)で危険箇所を明示する。緊急地震速報発令時には、構内にリアルタイム発信できる体制整備も検討中だ。

根津鋼材は電機OA機器向けをはじめ自動車関連の直需商売が主体の有力コイルセンタ。需要家の中にはグローバルA機器向けをはじめ自動車関連の直需商売が主体の有力コイルセンタ。需要家の中にはグローバル

根津鋼材

市場でビジネス展開する大手セットメーカーも多い。せつかくVA/VF提案のネタをもつ訪問営業しても、プレゼンテーション(プレゼ



プレゼンの実践訓練

プレゼン能力に磨き「発表の場」積極活用
かねない。各本部・事業部の幹部、中堅、若手が集結して前期の総括と今期の計画・抱負を共有しあう恒例の場。初回から15回を重ねる。今回の発表では「プレゼン形式」として、発表者は下のメッシュを見ず、横のスクリーン画面に目をやることも御法度にした。前を見て大きな声ではっきりと喋る。話す先にみえる

はこれまで削減して社用車の、エコカーへの切り替を順次進めていく。希望者には自家用車を二酸化炭素排出削減に公私命。規模は小さくても、地球環境への配慮はわれ尽くしたい(根津社長)としている。

顔は、同じ社内の仲間ではなく「お客さん」を意識させ、ついつい下を向いたり横を向けば、根津訓光社長から機が飛んだ。